

# 令和5年度 江南区組織目標

<b>組織名</b>	江南区	<b>区長</b>	坂井 玲子
<b>組織の目的・方向性</b>	「区ビジョン基本方針」に掲げた区の将来像である「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を実現するため、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進めます。		
<b>(参考) 関連する総合計画における政策指標*</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合</li> <li>・障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合</li> <li>・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数</li> </ul>		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

## 江南区組織目標

江南区では、新潟市総合計画 2030 及び江南区区ビジョンまちづくり計画に掲げる区の将来像「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」の実現に向けて、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。

### 重点目標

- 1 大規模な災害に対応するため、区民との協働により地域防災力を向上させます。
- 2 就職が難しい障がいのある人に対応した就労の場の確保や、福祉施設の工賃増額への取り組みを促進します。
- 3 歴史ある亀田縞など地域に根差した産業の振興と活性化に向けた取り組みを推進します。
- 4 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

## 評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
<b>取組結果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 将来の防災の担い手となる中学生を対象に心肺蘇生法、応急担架作成、水消火器訓練を行う「江南区ジュニアレスキュー隊育成講習会」を区内公立中学校全6校で開催しました。また、自主防災組織の訓練34件と避難所運営訓練4件を自治会やコミュニティ協議会等と協働で行い、地域防災力の向上を図りました。</li> <li>2 目標の達成に向けて、商・農業者と障がい福祉事業所による連携体制を構築するため、コーディネーターを配置しました。また、推進連絡会を設置し、魅力ある授産品の開発とプロモーションに取り組み、マッチングの新規成約2件及び授産品開発2件の成果がありました。</li> <li>3 タペストリーの設置、亀田縞と区の魅力を発信する情報紙発行、亀田縞を使った空間づくり事業の実施、新潟大学創生学部との連携により、認知度向上や活用推進に取り組みました。</li> <li>4 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用が図られるよう、4地区で都市計画区域の見直しを進めるため、令和6年度から始める北陸農政局との箇所別協議に向けた協議資料の作成を行いました。</li> </ol>				

今後の方向性

- 1 令和6年能登半島地震の振り返りを行ったうえで、引き続き、地域防災力の向上に取り組めます。
- 2 引き続きコーディネーターと連携し、福祉施設の現状把握、マッチングの仕組みづくりの課題検証を行い、成約の増加に取り組めます。
- 3 引き続き、亀田縞の認知度向上や活用促進に取り組むとともに、にいがた2kmの企業と連携して、若年層向けの2ndラインの立ち上げなどのブランディング戦略やプロモーションを実施します。
- 4 引き続き、市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。